



【安心して働き・暮らせる三浦半島】を目指し政策・制度要求と提言を提出

～10月6日と13日にかけて三浦半島地域の4市1町に提出!!～



逗子市

三浦半島地域連合は三浦半島地域4市に対して2024年度に向けた政策制度要求と提言を10月6日に鎌倉市・逗子市・三浦市・横須賀市を訪れ、三浦半島地域4市に提出するとともに、意見交換を実施しました。

当日は9時からスタートし、逗子市桐ヶ谷覚市長、10時10分から鎌倉市松尾崇市長、13時から三浦市吉田英男市長、15時から横須賀市上地克明市長に「働く



鎌倉市

ことを軸とした安心社会の実現」に向けて、「2024年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出しました。葉山町は日程が合わず、10月13日14時30分から提出しました。

三浦半島4市1町への統一要求では、地域活性化策や福祉政策・防災政策・投票率向上など計15項目を列举し、新規として『中小企業振興条例』、『海洋プラスチックゴミ削減』などを新たに求めました。また、自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口減に対応した商店街活性化策や国道357号延伸、鎌倉市へは渋滞対策・深沢新駅について、逗子市には駅前開発・整備、葉山町は鉄道駅がない街として交通の利便性向上などを求めました。



三浦市

最後に要求と提言については各市町だけではなく、三浦半島4市1町で連携や協力出来ることは一緒に取り組みを行い、三浦半島全体に効果が波及できるように要請をしました。

また、2024年

度の政策・制度要求度提言の実現に向けて4市1町政策制度首長意見交換会への出席をお願いし、提出した要求と提言の中から、①海洋プラスチック削減の取り組みについて、②人口減に向けた取り組み及び労働人口減における雇用確保③各級選挙における投票率向上に向けた取り組みなどを議論する予定です。



横須賀市



葉山町

三浦半島地域の各自治体との連携を強化して『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げて行きます。

神奈川県最低賃金が10月1日から1,112円に改定されました! 久里浜駅にて周知活動を実施!!



2023年度の地域別最低賃金改定額が、すべての都道府県の専門部会にて結審しました。急激な物価高騰に対応するべく、全国的に過去最高の引き上げ額となりました。

神奈川県は10月1日発効で、過去最高の上げ幅で41円UPの1,112円となりました。

この最低賃金改定を周知する活動として、10月13日（金）18時から京急久里浜



東口にて地域連合役員 25 名、牧山ひろえ参議院議員秘書の合計 26 名参加のもと行いました。

『神奈川県最低賃金 1,112 円』を記載したチラシ入りティッシュを連合役員が配付するなか、及川議長などが京急久里浜駅利用者にチラシを確認し、賃金が改定されたこと、守られていない場合は労働相談ダイヤルに相談して欲しいと訴えかけました



三浦海岸駅周辺クリーンキャンペーン&みかん狩りを開催!



10月22日（日）10時から三浦半島地域連合・労福協の共催で2023クリーンキャンペーンを行いました。

昨年、非常に好評だったため2年連続で三浦海岸駅のクリーンキャンペーンになりました。

絶好の秋晴れの中、230名を超える方（児童ホーム67名、OB15名を含む）が参加してくれました。

10時から三浦海岸駅前にて開会式を行い、主催者の労福協中澤会長の後、三浦市吉田英男市長が挨拶を行い、クリーンキャンペーンの重要性を訴えました。

式典終了後、三浦海岸駅から、みかん狩り園までを4コースに分けて約1時間清掃活動を行い、三浦海岸の海を見ながら清掃する人も多数いました。ゴミの収集700の袋で

10袋を超えるゴミを収集することが出来ました。

清掃（ボランティア活動）後はマホロバマインズ三浦の前にあるやまさみかん園でみかん狩りを行い、美味しいみかん（今年は暑さの影響か小ぶりでしたが非常に甘いみかんでした。）に参加者は大満足のうちに終了しました。今年度は日頃、お付き合いをしている児童施設も招待したところ、2施設で67名参加して大変喜んで頂きました。

